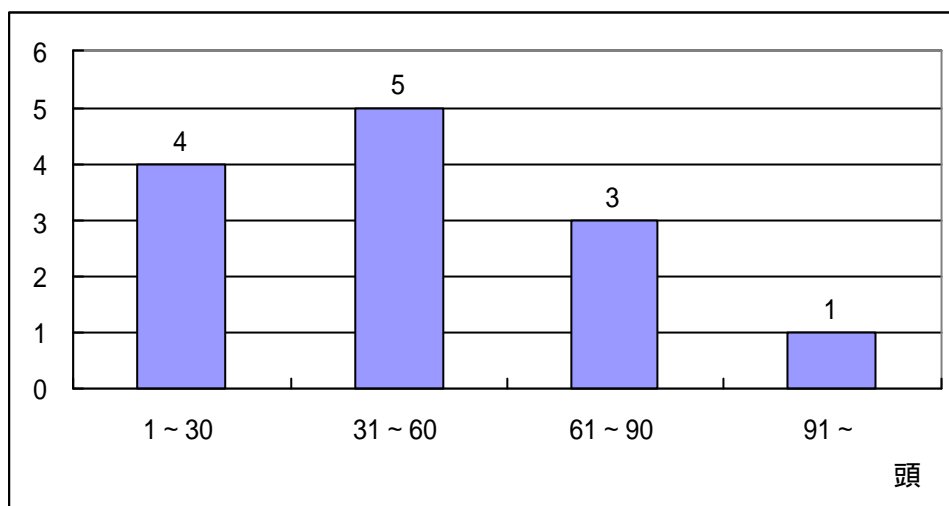


牧場見学等の取り組みについてのアンケート結果(酪農)

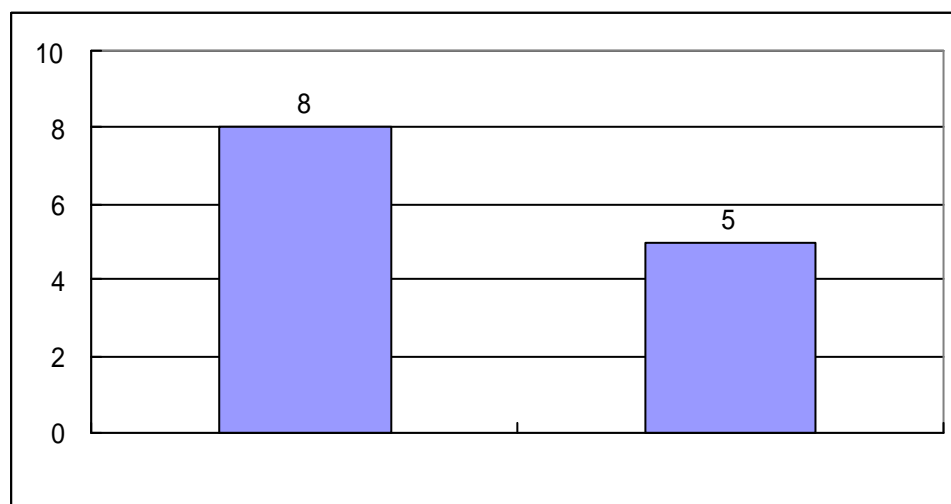
回答者数 13人

【飼養規模】経産牛



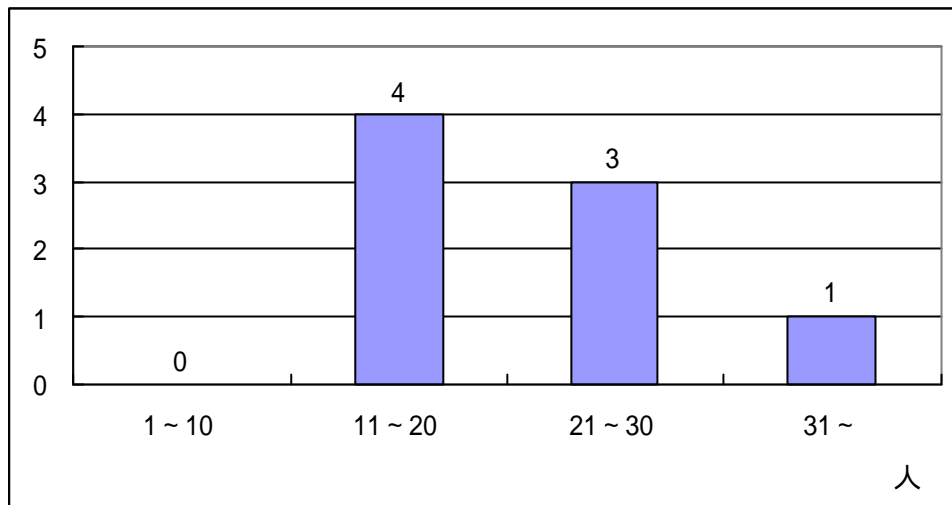
これまでに経験した牧場見学等の実態についてお尋ねします。

- Q1 最近3年間のうちにあなたの牧場へ、消費者、児童・生徒等の牧場見学等がありましたか？
あった なかった (の「今後について」の回答をお願いします。)

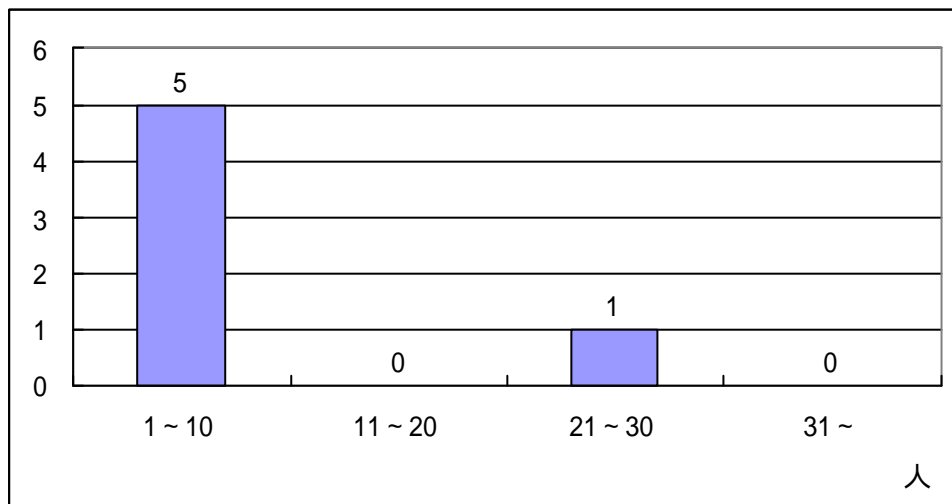


Q2 見学等の参加人数、回数等は？

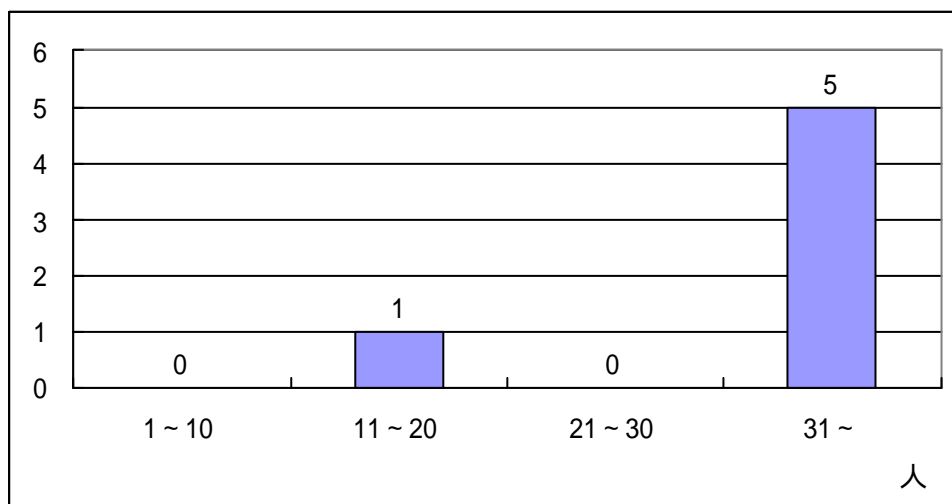
ア)1 回当たり平均で何人程度ですか



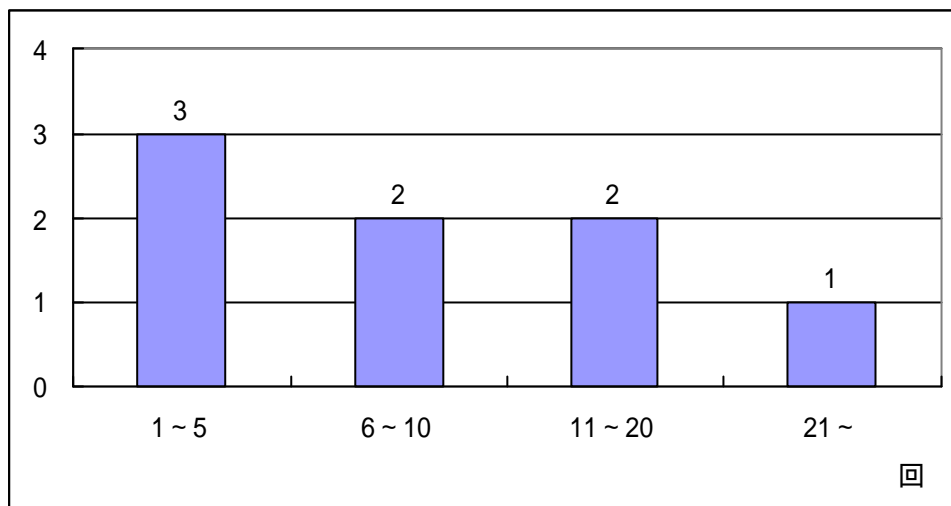
少ない場合は何人程度ですか



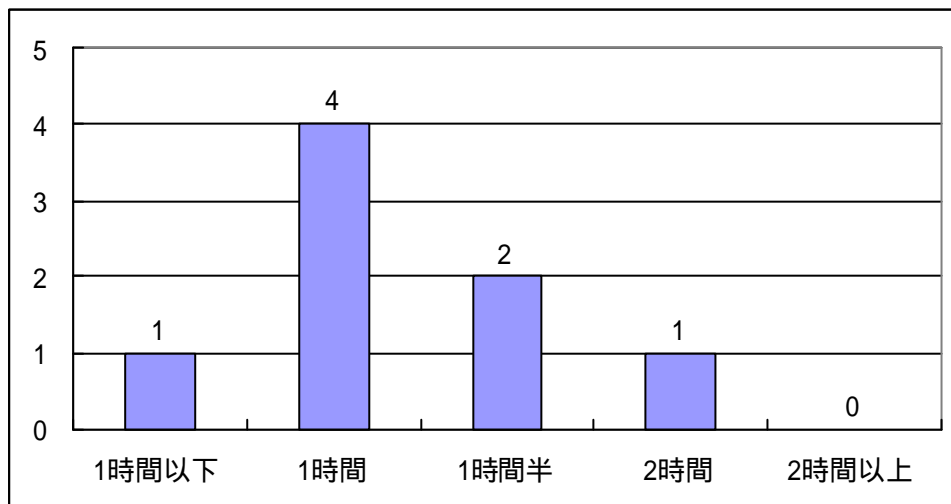
多い場合は何人程度ですか



1)この3年間で何回程度ですか

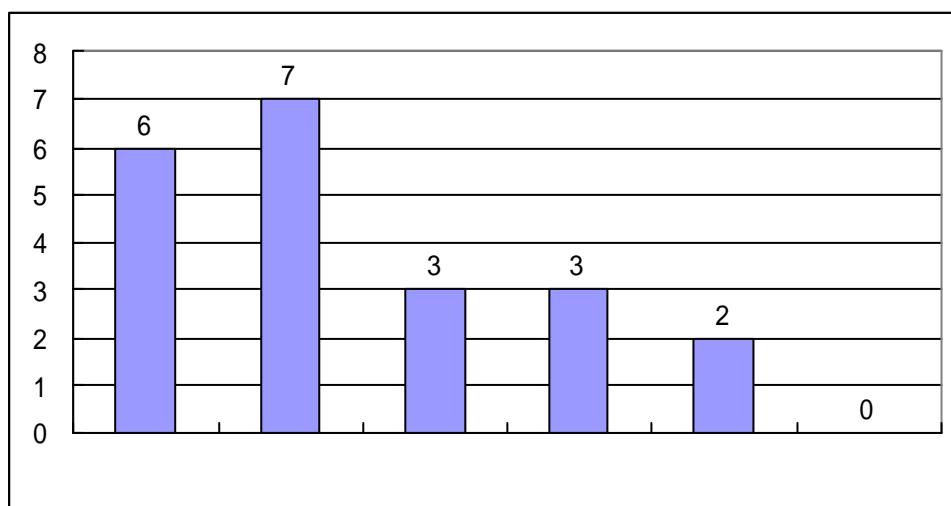


ウ)1回当たりの平均的な所要時間は何時間程度ですか(訪問者の牧場滞在時間)



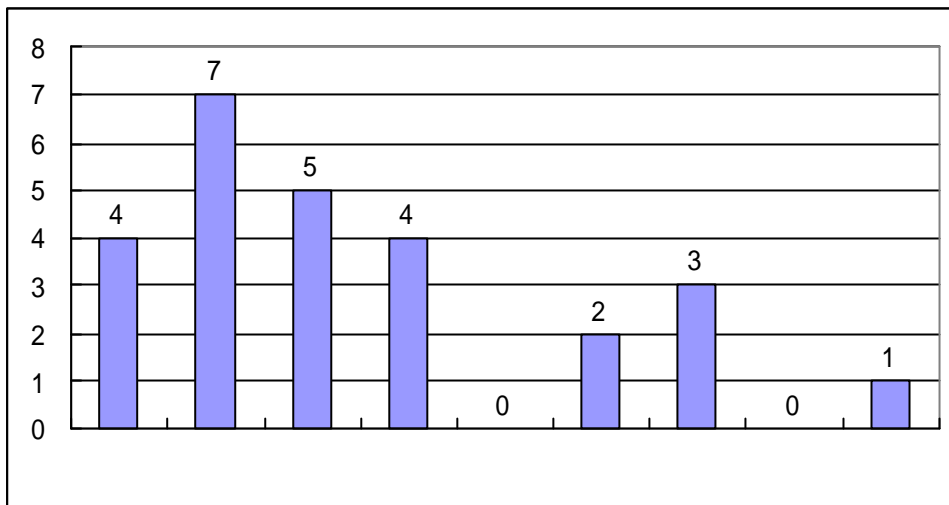
Q3 見学等牧場を訪問した対象者は?(複数回答可)

保育園・幼稚園児 小学生 中学生以上の学生 一般消費者 顧客 その他



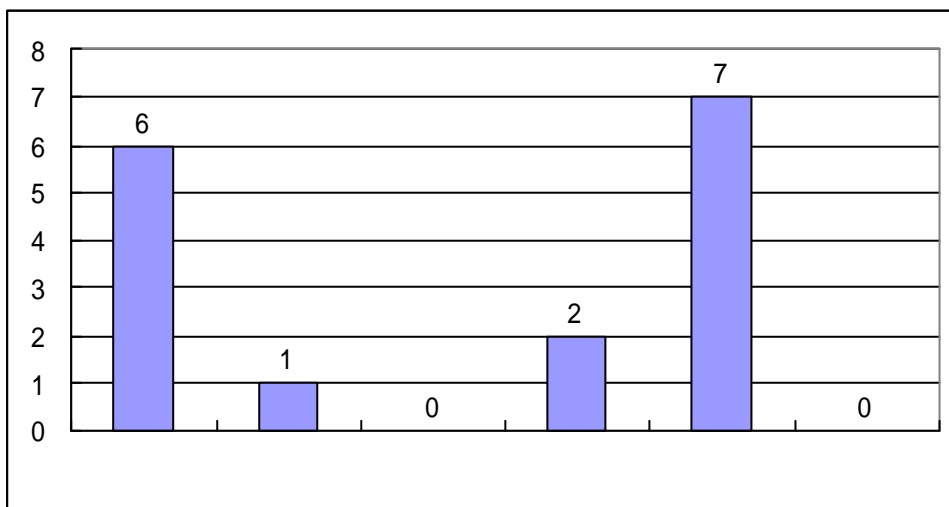
Q4 牧場を訪問して実施した内容は？（複数回答可）

場内見学 畜舎内見学 スケッチ エサやりなど飼育体験の一部 畜産物加工
 意見交換 職場体験 トラクタ試乗等 その他（実習）



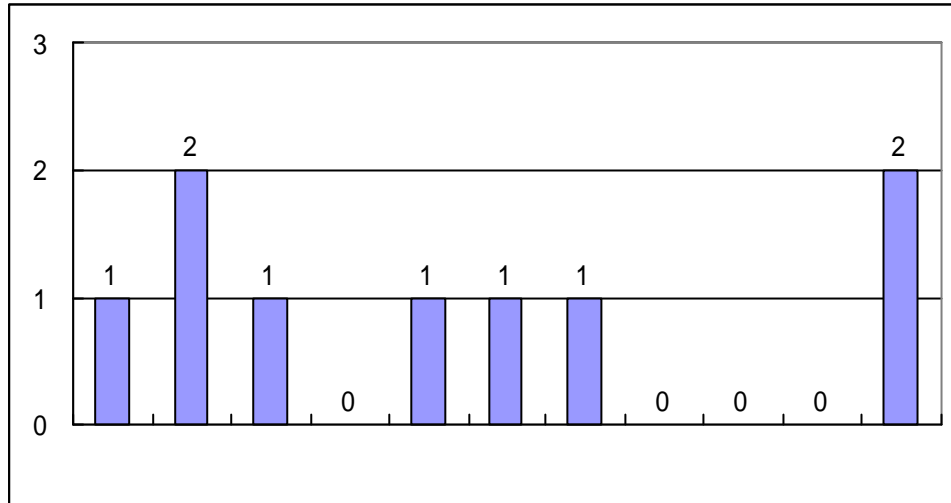
Q5 牧場訪問を受けて、よい効果が生まれましたか？（複数回答可）

畜産の理解に役立った 畜産物の理解に役立った 販売促進につながった
 食育の一環に寄与できた 訪問者に喜んでもらった その他



Q6 牧場訪問を受けて、困ったことはありますか？（複数回答可）

- 訪問前の準備が大変
- 訪問者への説明が負担
- 時間に拘束される
- 費用がかかる
- 見学者の態度に不満がある
- 家畜へのストレス等の影響が心配
- 防疫について不安
- 資料が作れない
- 訪問者の事故が心配
- 訪問により悪い印象が残った
- その他（特になし、トイレ）



Q7 牧場見学、食育活動等に関してご意見がありましたらご記入下さい。

- 牧場訪問によって畜産の理解を得られたように思うが、現状飲用乳が消費低迷している中、販売促進にはあまりつながってはいないと思う。これを何とかしたい。

今後の牧場見学等についてお尋ねします。

Q1 今後も牧場見学等を受け入れますか？

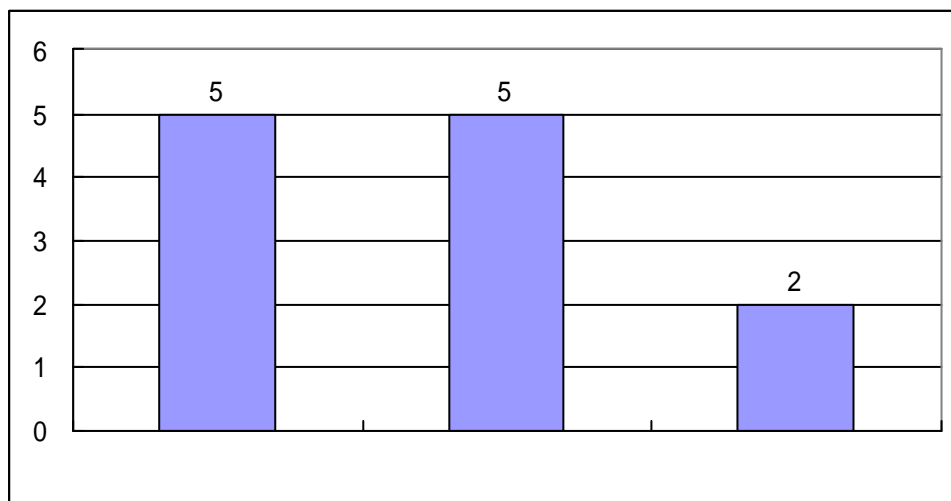
受け入れる

条件により受け入れる

- 【具体的に】
- 牛舎環境が整えば
 - 時間調整が必要
 - 知人に短時間頼まれた場合

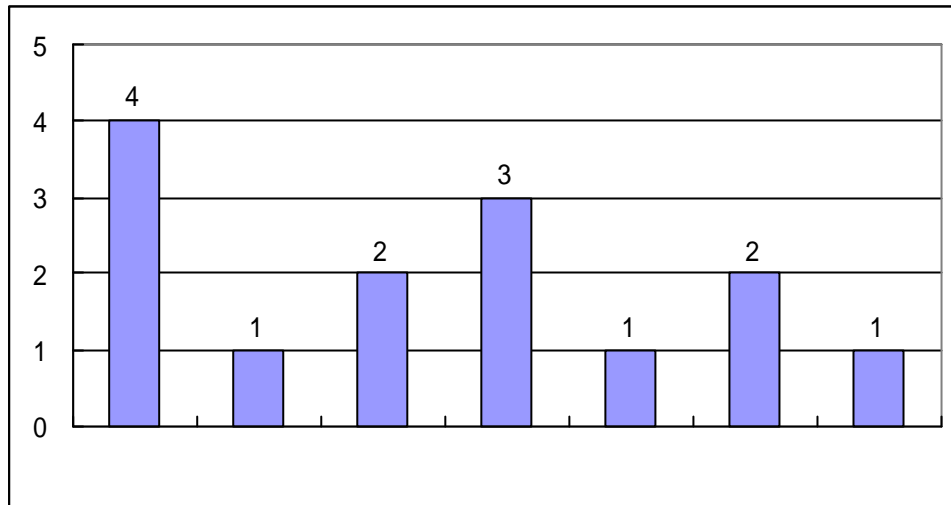
- 条件等はない。いつでも見学に来てもらっても結構です。
- 業者・同業者については条件あり

受け入れは困難



Q2 牧場見学等を受け入れる場合、必要と思われること何ですか？（複数回答可）

事前準備の支援 訪問者等からの費用負担 訪問者へのサポート(他組織の支援)
 事故対策(保険も含めて) 他牧場の対応状況についての情報 地域との共存意識
 その他（沢山の人が見学に来てもらった事がないのでわかりません）



Q3 今後、牧場見学等を受け入れたら食育活動等に参加したりするに当たり、ご意見がありましたらご記入下さい。

- 牧場見学だけでは、食育活動への参加というのは少し難しいように思う。畜産の出前教育として、小学校へお話会に行くとか、仔牛を学校で飼育してもらおう事の方が、身に感じて畜産への理解がもっと深まると思う。
- 一般消費者へ「牛乳に相談だ会」(酪農の場合は)など行くと良いと思う。
- 酪農の場合は畜産協会が中心になって各地域で牛乳料理の講習会やモーモースクールの開催等を考えて欲しい。牛乳がこんなにも健康促進に役立つものである事を知らしめる会などどんどん計画して欲しいです。その事に協力は大にします。どうぞご指導下さい。
- 先生等も事前に乳牛について、ネット等で勉強してきて欲しい。